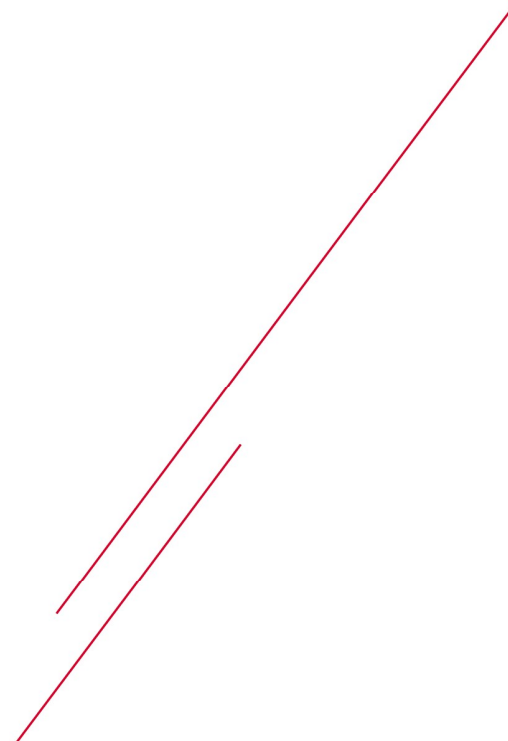


ファンド・レビュー・レポート 2023



目次

CEOメッセージ	P.2
ファンド・レビューの考え方	P.3
ファンド・レビューの方法	P.4
ファンド・レビュー	
国内株式（一般型）	P.6~
国内株式（スタイル）	P.14~
国内株式（業種・テーマ、その他）／国内不動産投信	P.32~
海外株式	P.40~
内外債券	P.57~
マルチアセット	P.69~
インデックスファンド	P.85~
インデックスファンド（マルチアセット）他	P.105~
少額ファンドについて	P.126

「お客様本位の業務運営」のために

野村アセットマネジメントは、お客様の資産形成に貢献し、「世の中の役に立つ」資産運用会社になることを目指しています。

その実現に向けて、「お客様本位の業務運営」に必要不可欠と考えるプロダクト・ガバナンスを強化するため、当社は、2022年4月にプロダクト・ガバナンス部を新設し、その取り組みの一環として、お客様の目線に立ったファンド・レビューを進めています。ファンド・レビューでは、運用パフォーマンスだけではなく、商品性や情報提供に関する品質も含めた、お客様から見た総合的な価値を評価しています。また、ファンド・レビューの結果に応じて、各プロダクトの価値向上に向けた改善活動に鋭意取り組みます。

このたび「ファンド・レビュー・レポート」を公表するに至ったのは、長期の資産形成を担う金融商品として投資信託の重要性が高まる中、ファンド・レビューの内容をお知らせすることが、「お客様本位の業務運営」を実践する上で重要な、資産運用会社の説明責任の履行につながると考えたためです。また、このような自主的な公表は国内初の試みであり、資産運用業界の発展に向けて、リーディングカンパニーとして「お客様本位の業務運営」に先駆的に取り組む決意を示すものです。本レポートでは、ファンド・レビューの内容について、お客様に分かりやすくご説明して参ります。

当社は、ファンド・レビューを含むさまざまな取り組みを通じてプロダクト・ガバナンス強化を図り、「お客様本位の業務運営」を徹底して参ります。

2023年5月

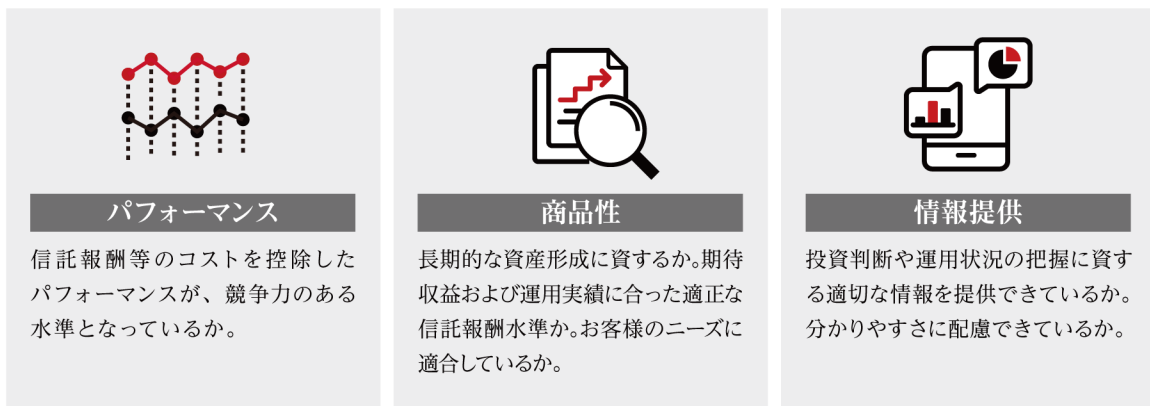
CEO兼代表取締役社長

小池 広靖

ファンド・レビューの考え方

基本的な考え方

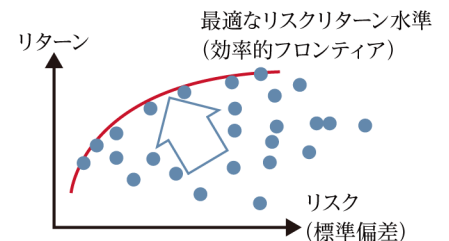
- 「お客様の利益に資する商品提供」およびそのための「プロダクトの育成、競争力強化」を目的として、お客様目線を取り入れた評価を行います。
- ファンド・レビューはお客様が投資を検討するときから、投資期間中、売却・償還するまでに当社が提供する一連のサービスを対象とします。
- 「パフォーマンス（運用実績）」、「商品性」、「情報提供」の3つの観点から評価します。



プロダクト・ガバナンス強化によって期待される効果

- ファンド・レビューの結果を受けて、運用プロセスや情報提供の改善等、さらなる品質向上に向けた施策を実行します。また、目標の実現が困難と判断したプロダクトについては、信託報酬等の商品性の見直しや償還、併合等を進めます。
- その結果、高品質のファンド群により多くの経営資源が投入されることで運用力向上等のサービスの改善が図られ、お客様の利益に資する商品提供が促進されることが期待されます。

運用力向上の狙い（イメージ）



各●はファンドを表しています。赤線上に位置するファンドはリスク対比のリターンが良好です。運用力向上により左上へのシフトを目指します。



ファンド・レビューの方法 1/2

評価対象

- 当社の運用する公募投資信託(約700本)※を対象として、順次評価を行います。
※上場投資信託 (ETF) を除く。

評価項目と基準

パフォーマンス	商品性	情報提供
コスト控除後のリターンとリスクに基づき、複数の外部評価機関の3年と5年の競合比較による評価を参考に、総合的に判断します。※1	長期資産形成の観点から評価します。現状は経費率(信託報酬を含む)を対象としますが、お客様と商品との適合性等についても今後評価に加える予定です。※2	お客様が商品を検討する際に必要となる情報や投資期間中の開示情報が、分かりやすく記載されているか等について評価します。

- ※1 パフォーマンスの評価は、外部評価機関が商品分類ごとに付与する競合比較による評価 (Morningstar Ratings および Fundmark レーティング) を参考にして上位 / 中位 / 下位に分類し、さらに下位の中でも競合比で特に劣位のものについては下位【劣後】とします。3年ないし5年の評価が劣後する水準にあり十分な改善傾向が認められない場合、当該ファンドを Red (赤) とします。なお、インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。インデックスもしくはルールに定めた運用がなされているかの観点から運用品質を確認しています。
- ※2 商品性の評価は、経費率について、Fundmark 分類に基づく同類ファンド群 (他社を含む) の中央値に対して大幅に超過しているか否かを基準に分類します。当基準を超過した場合は、さらにお客様が得るパフォーマンスを検証します。

- 評価は、評価対象業務を担う部署と異なる管理部署によって行います。各評価項目について評価基準を設けて評価を実施します。今後、評価基準についても改善に向けて随時見直します。

評価結果

- ファンドごとに各評価項目について、3段階で評価を付与します。

お客様への継続的な価値提供の実現に向けて

 (Red、赤)	改善すべき点が認められます。
 (Yellow、黄)	改善を検討すべき点が認められます。
 (Green、緑)	価値提供に向けた取り組みが認められます。

- Red (赤) 評価となった場合は、該当項目について改善を図り、改善の取り組みの進捗状況をお客様に開示いたします。

評価の妥当性・透明性

- 評価は独立社外取締役が過半数を占めるファンド業務運営諮問会議※へも報告されます。
※受益者の立場に立って、フィデューシャリー・デューティー遂行の観点から、ファンドに係る検証を行います。
- 当レポートを通じて定期的にお客様に開示します。

ファンド・レビューの方法 2/2

評価の開示

- 当レポートにおいては、当社が自社のみで運用を行っているファンドについて、ファンド・レビューを通じた評価結果と、結果に対応した品質向上のための取り組みを開示しています。また、当レポートで取り上げていないファンドについても適宜レビューを行っており、品質の向上に努めています。
- ファンド・レビューにおいては、運用方針が実質的に同じファンドは決算頻度や為替ヘッジの有無などが異なる場合も同種ファンドとして評価を行っており、当レポートにおいても、同種ファンドについては代表的なファンドの評価結果を開示しています。

注) 運用パフォーマンスについては、長期的視点で評価し、改善につなげるという当レビューの目的に基づき、運用開始から3年未満のファンドおよび1年以内に償還が予定されているファンドは評価対象外としています。また、純資産が少額であるファンドや、通貨選択型など適切な競合商品がないファンド、参照した外部評価機関のいずれにおいても評価がないファンドなどについても評価対象から除外しています。

(評価基準日: 2023年3月31日)

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
1 ノムラ日本株戦略ファンド	R	R	Y
2 野村セレクト・オポチュニティ(野村SMA・EW向け)	G	G	Y
3 ノムラ・ジャパン・オープン	Y	G	Y
4 ノムラ・ザ・セレクト(野村SMA・EW向け)	G	G	G
5 野村日本ブランド株投資(円コース) 年2回決算型	Y	G	G
6 野村日本企業価値向上オープン(円投資型)	G	G	Y
7 野村日本最高益更新企業ファンド	Y	G	Y

お客様への継続的な価値提供の実現に向けて

R (Red、赤) …改善すべき点が認められます。 Y (Yellow、黄) …改善を検討すべき点が認められます。

G (Green、緑) …価値提供に向けた取り組みが認められます。

※ 上記は、ファンド・レビューが完了したものを掲載しております。他ファンドについても、順次ファンド・レビューが完了したものから開示する予定です。

※ 投資方針が同様のファンドが複数ある場合については、信託報酬水準の妥当性を判断する上で原則として信託報酬水準が高いファンドを代表として取り上げて評価しています。

※ 「野村SMA・EW向け」のファンドは、SMA(セパレトリー・マネージド・アカウント)に係る契約に基づいて、SMA取引口座の資金を運用するためのファンドです。

概要説明

国内株式全般に投資するアクティブ運用プロダクトを評価しました。評価した7ファンドのうち、すべて緑色となったファンドは1本、黄色がついたファンドは6本、赤色がついたファンドは1本(黄色がついたファンドと重複)でした。

その結果をふまえ、各ファンドについて記載したページでは、改善に向けた当社の取り組みについてもお伝えしています。

- 赤色がついたファンド(1本)
- ノムラ日本株戦略ファンド: 赤評価となったのは、競合比較のパフォーマンスおよび商品性(経費率(信託報酬を含む))です。両項目の改善に向けて、経費率に応じたパフォーマンス水準を達成するべく、各投資スタイルへの配分方法の改善や銘柄数の絞り込みなどの運用改善策を策定し、実施しています。
- 黄色がついたファンド(6本)
- パフォーマンスが黄評価となったファンド(3本)は、競合比較のパフォーマンスが下位となっております。原因に応じて、ポートフォリオ構築方法や組入銘柄の見直し、運用担当者の変更を実施して改善に取り組んでいます。
- 情報提供において黄評価となったファンド(5本)の要因は共通で、運用成績を評価するにあたり、より適切と考えられる配当収益を含む指数とのパフォーマンス比較が開示されていないことです。配当込み指数を比較対象とすべく対応を進めています。

1

評価対象ファンド名

ノムラ日本株戦略ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140239>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

ノムラ日本株戦略ファンド（確定拠出年金向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に、総合的に判断しています。

評価 **R**

競合比較	3年	5年
	下位	下位【劣後】

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに下位の水準であり、改善すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

長期間にわたりパフォーマンス改善に取り組んで参りましたが、十分な成果が出ていませんでした。改めて運用プロセスについて分析した結果、取っているリスク水準が低位であったため、付加価値の出ている銘柄選択の貢献度が不十分でした。対応策として、2023年2月末までに保有する銘柄数を大幅に絞り込み、積極的にリターンを追求しています。また、3つの投資スタイルへの配分比率を決める定量モデルの改良に継続的に取り組んでいます。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **R**

経費率	本ファンド	中央値
	2.08%	1.65%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドはその中央値に対して大きく超過しており、またそれに見合うパフォーマンスを提供できておりません。

・対応状況に関するコメント

運用の改善策によるパフォーマンス結果をふまえて、役務に対する対価として信託報酬水準を再検証する予定です。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

2

評価対象ファンド名

野村セレクト・オポチュニティ(野村SMA・EW向け)

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL (当社ホームページ) にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140620>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

(評価基準日: 2023年3月31日)



パフォーマンス(運用実績)

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.92%	0.95%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

3

評価対象ファンド名

ノムラ・ジャパン・オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140175>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

ノムラ・ジャパン・オープン（野村SMA向け） / ノムラ・ジャパン・オープン（確定拠出年金向け）

野村国内株式アクティブオープン（確定拠出年金向け） / 野村DC日本株式アクティブファンド

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	下位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

2022年4月に運用担当者を変更しました。新担当者は、堅調な業績が見込める銘柄を割安なタイミングで組み入れ、市場環境に合わせてメリハリのある機動的な銘柄の入れ替えを実施しています。

過去1年間のパフォーマンスは、TOPIX（配当込み）対比でプラスとなり、改善傾向を示しております。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.68%	1.65%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、
その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が
開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

4

評価対象ファンド名

ノムラ・ザ・セレクト（野村SMA・EW向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140622>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.92%	0.95%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

5

評価対象ファンド名

野村日本ブランド株投資(円コース)年2回決算型

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL (当社ホームページ) にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=180062>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村日本ブランド株投資(円コース)毎月決算型

(評価基準日: 2023年3月31日)



パフォーマンス(運用実績)

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較

3年

5年

下位

下位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

米国の金融政策が急速に利上げを進め、国際優良株を主要投資対象とする当ファンドは悪影響を受けました。今後は、世界経済の回復局面で、国際競争力のある銘柄選定に注力し、運用成果の改善を図ります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

1.66%

1.65%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

6

評価対象ファンド名

野村日本企業価値向上オープン（円投資型）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140647>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	中位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに中位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.38%	1.65%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

7

評価対象ファンド名

野村日本最高益更新企業ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140725>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	—

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

業績成長に着目した銘柄選択を行っていますが、競合ファンドに対して優位性を発揮できませんでした。業績成長が期待される企業について投資可能母集団の拡充・刷新等を行うとともに、割安性の視点を加味したポートフォリオを構築していきます。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.60%	1.65%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

（評価基準日：2023年3月31日）

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
1 好配当日本株式オープン	G	G	Y
2 小型ブルーチップオープン	G	G	G
3 ジャパン・アクティブ・グロース（分配型）	G	G	Y
4 ストラテジック・バリュー・オープン	G	G	Y
5 スーパートレンドオープン	G	G	Y
6 日本好配当株投信	G	G	Y
7 日本新興成長企業株ファンド	R	G	G
8 日本低位株ファンド	G	G	Y
9 野村小型株オープン	Y	G	G
10 野村ジャパンドリーム（野村SMA・EW向け）	G	G	G
11 ノムラ・ジャパン・バリュー・オープン	G	G	Y
12 野村日本小型株セレクト（野村SMA・EW向け）	Y	G	G
13 野村日本真小型株投信	Y	G	G
14 野村日本割安低位株オープン	G	G	G
15 野村リアルグロース・オープン	Y	G	G
16 リサーチ・アクティブ・オープン	G	G	Y

お客様への継続的な価値提供の実現に向けて

R (Red、赤) …改善すべき点が認められます。 **Y** (Yellow、黄) …改善を検討すべき点が認められます。

G (Green、緑) …価値提供に向けた取り組みが認められます。

※ 上記は、ファンド・レビューが完了したものを掲載しております。他ファンドについても、順次ファンド・レビューが完了したのから開示する予定です。

※ 投資方針が同様のファンドが複数ある場合については、信託報酬水準の妥当性を判断する上で原則として信託報酬水準が高いファンドを代表として取り上げて評価しています。

※ 「野村SMA・EW向け」のファンドは、SMA(セパレイトリー・マネージド・アカウント)に係る契約に基づいて、SMA取引口座の資金を運用するためのファンドです。

概要説明

国内株式のうちバリュー型やグロース型等、特定の投資スタイルを採用するアクティブ運用プロダクトを評価しました。評価した16ファンドのうち、すべて緑色となったファンドは3本、黄色がついたファンドは12本、赤色がついたファンドは1本でした。

その結果をふまえ、各ファンドについて記載したページでは、改善に向けた当社の取り組みについてもお伝えしています。

• 赤色がついたファンド（1本）

日本新興成長企業株ファンド：赤評価となったのは、競合比較のパフォーマンスです。

対応策として、新担当者は、銘柄特性などの分散に注意を払いながら、市場環境に合わせた機動的な銘柄入れ替えを行っていくことで、運用成果の改善を図っています。

• 黄色がついたファンド（12本）

パフォーマンスが黄評価となったファンド（4本）は、競合比較のパフォーマンスが3年、5年ともに（設定後5年未満のファンドは3年のみ）下位となっております。原因に応じて、多様な投資アイデアの取り込み、新規銘柄の発掘のための情報収集や分析の充実化、運用担当者の変更等を実施して改善に取り組んでいます。

情報提供において黄評価となったファンド（8本）の要因は共通で、運用成績を評価するにあたり、より適切と考えられる配当収益を含む指数とのパフォーマンス比較が開示されていないことです。配当込み指数を比較対象とすべく対応を進めています。

1

評価対象ファンド名

好配当日本株式オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140340>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で中位の水準ですが、5年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.21%	1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

2 | 評価対象ファンド名 小型ブルーチップオープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。
<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140188>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.67%	1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値と同水準にあり、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

3

評価対象ファンド名

ジャパン・アクティブ・グロース（分配型）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140655>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

ジャパン・アクティブ・グロース（資産成長型）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較

3年

5年

下位

上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で下位の水準ですが、5年では上位の水準を維持しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

1.60%

1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

4

評価対象ファンド名

ストラテジック・バリュー・オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL (当社ホームページ) にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140255>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

ストラテジック・バリュー・オープン (野村SMA向け) / ストラテジック・バリュー・オープン (野村SMA・EW向け)
 ジャパン・ストラテジック・バリュー / 野村バリュー・フォーカス・ジャパン

(評価基準日: 2023年3月31日)



パフォーマンス (運用実績)

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	中位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で中位の水準ですが、3年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.65%	1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書 (目論見書・運用報告書・月次レポート) 以外の追加開示: なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

5

評価対象ファンド名

スーパートレンドオープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140072>

・ 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で中位の水準ですが、5年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.90%	1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

6

評価対象ファンド名

日本好配当株投信

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL (当社ホームページ) にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140339>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

(評価基準日: 2023年3月31日)



パフォーマンス(運用実績)

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	下位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で下位の水準ですが、5年では上位の水準を維持しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.21%	1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

7

評価対象ファンド名

日本新興成長企業株ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL (当社ホームページ) にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140749>

・ 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

(評価基準日: 2023年3月31日)



パフォーマンス(運用実績)

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **R**

競合比較	3年	5年
	下位【劣後】	—

- ・ 設定来の経過期間が短く 3 年のみの評価となりますが、コスト
控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で
下位の水準であり、改善すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは、上場年数の若い企業を主要投資対象として
おり、コロナ禍で業績が急伸した企業に着目した銘柄選択
を行っていましたが、結果的に特定セクターへの投資比率
が高く、その後の株価下落がパフォーマンスに大きく影響
し、競合他社に劣後する結果となりました。
対応策としては、2023年4月に担当者を変更し、新担
当者は銘柄特性などの分散に注意を払い、機動的な銘柄
の入れ替えを行っていくことで、運用成果の改善を図って
おります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.82%	1.67%

- ・ 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収
まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・ 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次
レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・ 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

8

評価対象ファンド名

日本低位株ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140116>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	中位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で中位の水準ですが、3年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.02%	1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

9

評価対象ファンド名

野村小型株オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140364>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較

3年

5年

下位

下位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

2023年4月に担当者を変更しました。新担当者は、本源的価値と株価のギャップに着目し、割安株と成長株にバランスよく分散投資しつつ、割安株についてはよりカタリスト※に注目して多様な投資アイデアを取り込むことで、安定的な超過収益の獲得を目指します。

※相場や株価の変動を引き起こす材料やきっかけ



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

1.77%

1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

10

評価対象ファンド名

野村ジャパンドリーム(野村SMA・EW向け)

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL (当社ホームページ) にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140621>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

(評価基準日: 2023年3月31日)



パフォーマンス(運用実績)

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較

3年

5年

下位

中位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年で下位の水準ですが、5年では中位の水準を維持してお
り、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.96%

0.93%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収
まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次
レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

11

評価対象ファンド名

ノムラ・ジャパン・バリュー・オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140215>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

ノムラ・ジャパン・バリュー・オープン（野村SMA向け）／ バリューハント日本株

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	下位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で下位の水準ですが、5年では上位の水準を維持しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.67%	1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値と同水準にあり、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

12

評価対象ファンド名

野村日本小型株セレクト(野村SMA・EW向け)

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL (当社ホームページ) にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140751>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

(評価基準日: 2023年3月31日)



パフォーマンス(運用実績)

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	—

- 設定来の経過期間が短く3年のみの評価となりますが、コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

投資対象とする3本の親投資信託証券の一つで、2023年4月に担当者を変更しました。新担当者は、企業の本源的価値と株価のギャップに着目し、割安株と成長株にバランスよく分散投資しつつ、割安株についてはよりカタリストに注目して多様な投資アイデアを取り込むことで、安定的な超過収益の獲得を目指します。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.90%	0.93%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

13

評価対象ファンド名

野村日本真小型株投信

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140469>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	下位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

2023年4月に担当者を変更しました。新担当者は、本源的価値と株価のギャップに着目し、割安株と成長株にバランスよく分散投資しつつ、割安株についてはよりカタリストに注目して多様な投資アイデアを取り込むことで、安定的な超過収益の獲得を目指します。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.77%	1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

14

評価対象ファンド名

野村日本割安低位株オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140722>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	中位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で中位の水準ですが、3年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.16%	1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

15

評価対象ファンド名

野村リアルグロース・オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140299>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村リアルグロース・オープン（確定拠出年金向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較

3年

5年

下位

下位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは利益成長に着目して投資を行っていますが、
主要国で金融引き締めが進む中、最も悪影響を受けた小
型成長株の保有が多く、優位性を発揮できませんでした。
今後は従来から調査している銘柄に加え、新規銘柄の発
掘に対する情報収集、分析を充実させ、運用成果の改善
を図ります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

1.65%

1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次
レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

16

評価対象ファンド名

リサーチ・アクティブ・オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140106>

● 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

リサーチ・アクティブ・オープン（野村SMA向け）／リサーチ・アクティブ・オープン（野村SMA・EW向け）

リサーチ・アクティブ・オープン（確定拠出年金向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較

3年

5年

上位

下位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で下位の水準ですが、3年では上位の水準を回復しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

1.13%

1.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

国内株式（業種・テーマ、その他）

(評価基準日: 2023年3月31日)

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
1 関西応援ファンド	G	G	Y
2 情報エレクトロニクスファンド	G	G	Y
3 野村サービス関連株ファンド	G	G	Y
4 ロボ・ジャパン（円投資型）	G	G	G

国内不動産投信

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
5 J-REITオープン（年4回決算型）	G	G	G
6 野村Jリートファンド	G	G	G
7 野村日本不動産投信	Y	Y	G

お客様への継続的な価値提供の実現に向けて

R

(Red、赤)

…改善すべき点が認められます。

Y

(Yellow、黄)

…改善を検討すべき点が認められます。

G

(Green、緑)

…価値提供に向けた取り組みが認められます。

※ 上記は、ファンド・レビューが完了したものを掲載しております。他ファンドについても、順次ファンド・レビューが完了したものとから開示する予定です。

※ 投資方針が同様のファンドが複数ある場合については、信託報酬水準の妥当性を判断する上で原則として信託報酬水準が高いファンドを代表として取り上げて評価しています。

概要説明

国内株式のうち特定の業種やテーマに投資するアクティブ運用プロダクト、および、国内不動産投信に投資するアクティブ運用プロダクトを評価しました。評価した7ファンドのうち、すべて緑色となったファンドは3本、黄色がついたファンドは4本、赤色がついたファンドはありませんでした。

その結果をふまえ、各ファンドについて記載したページでは、改善に向けた当社の取り組みについてもお伝えしています。

- 黄色がついたファンド（4本）
- パフォーマンスが黄評価となったファンド（1本）は、競合比較のパフォーマンスが3年、5年ともに下位となっております。流動性を重視しつつ、商品コンセプトに沿って、リスクとコスト控除後のリターンが見合うものになるよう、検討を進めて参ります。
- 商品性が黄評価となったファンド（1本）は、流動性を考慮しつつJ-REIT市場全体の値動きを概ね捉えとした商品性を鑑みた期待リターンに対しては、経費率の水準が高くなっています。役務に対する対価等を再確認の上、信託報酬水準を検討する予定です。
- 情報提供において黄評価となったファンド（3本）の要因は共通で、運用成績を評価するにあたり、より適切と考えられる配当収益を含む指数とのパフォーマンス比較が開示されていないことです。配当込み指数を比較対象とすべく対応を進めています。

1

評価対象ファンド名

関西応援ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140654>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日: 2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	—

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.38%	1.59%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

2

評価対象ファンド名

情報エレクトロニクスファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140012>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日: 2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	—

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大ききで順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.56%	1.59%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

3

評価対象ファンド名

野村サービス関連株ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140588>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日: 2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	中位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で中位の水準ですが、3年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.37%	1.59%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

4

評価対象ファンド名

ロボ・ジャパン（円投資型）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140670>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日: 2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	—

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
中位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められま
す。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.59%	1.59%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値と同水準にあり、相応の範囲に収まっていま
す。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

5

評価対象ファンド名

J-REITオープン（年4回決算型）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140338>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

J-REITオープン（毎月決算型）／J-REITオープン（資産成長型）

（評価基準日: 2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.10%	1.10%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値と同水準にあり、相応の範囲に収まっていま
す。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

6

評価対象ファンド名

野村Jリートファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140559>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村J-REITファンド（確定拠出年金向け） / 野村J-REITファンド（野村SMA向け）

（評価基準日: 2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.10%	1.10%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値と同水準にあり、相応の範囲に収まっていま
す。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

7

評価対象ファンド名

野村日本不動産投信

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140385>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日: 2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	下位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

流動性を重視しつつJ-REIT市場全体の動きを概ね捉えるという商品コンセプトに沿って、リスクとコスト控除後のリターンが見合うものになるよう検討を進めて参ります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **Y**

経費率	本ファンド	中央値
	0.92%	1.10%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っております。一方、流動性を考慮しつつJ-REIT市場全体の値動きを概ね捉えるとした商品性を鑑みた期待リターンに対しては、高めの経費率の水準にあると判断します。

・対応状況に関するコメント

運用手法や商品性等について、役務に対する対価等を再確認の上で、信託報酬水準を検討する予定です。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

ファンド・レビュー

海外株式 1/2

2023年8月作成

海外株式（グローバル）

（評価基準日：2023年3月31日）

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
1 グローバル・ハイインカム・ストック・ファンド	G	G	Y
2 グローバル・バリュー・オープン	G	G	Y
3 世界好配当株投信（年4回決算型）	G	G	Y
4 野村未来トレンド発見ファンドBコース（為替ヘッジなし）	G	G	G

海外株式（エマージング）

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
5 野村アフリカ株投資	G	G	G

海外株式（北米）

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
6 米国NASDAQオープンBコース	G	G	Y

海外株式（アジア・オセアニア）

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
7 アジア好配当株投信	G	G	Y
8 チャイナ オープン	R	G	G
9 ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・印度・フォーカス）	Y	G	Y
10 野村インド株投資	Y	G	G

海外株式（業種・テーマ） (評価基準日：2023年3月31日)

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
11 野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース	Y	G	G
12 野村世界業種別投資シリーズ（世界金融株投資）	G	G	G
13 野村世界業種別投資シリーズ（世界資源株投資）	G	G	G
14 野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）	G	G	G
15 野村世界業種別投資シリーズ（世界ヘルスケア株投資）	G	G	G

お客様への継続的な価値提供の実現に向けて

R

(Red、赤)

…改善すべき点が認められます。

Y

(Yellow、黄)

…改善を検討すべき点が認められます。

G

(Green、緑)

…価値提供に向けた取り組みが認められます。

※ 上記は、ファンド・レビューが完了したものを掲載しております。他ファンドについても、順次ファンド・レビューが完了したものから開示する予定です。
※ 投資方針が同様のファンドが複数ある場合には、信託報酬水準の妥当性を判断する上で原則として信託報酬水準が高いファンドを代表として取り上げて評価しています。

概要説明

海外株式のうち特定の地域等、業種やテーマに投資するアクティブ運用プロダクトを評価しました。評価した15ファンドのうち、すべて緑色となったファンドは6本、黄色がついたファンドは8本、赤色がついたファンドは1本でした。

その結果をふまえ、各ファンドについて記載したページでは、改善に向けた当社の取り組みについてもお伝えしています。

- 赤色がついたファンド（1本）
チャイナ オープン：赤評価となった項目は、競合比較のパフォーマンスです。改善に向けて、重要セクターのアナリスト増員や海外拠点の運用チームとの協力体制の強化に取り組んでいきます。
- 黄色がついたファンド（8本）
パフォーマンスが黄評価となったファンド（3本）は、競合比較のパフォーマンスが、3年・5年のいずれかまたは両方で下位となっております。原因に応じて、銘柄選択能力の向上に向けた取り組みや、ポートフォリオの見直し等を実施しています。
情報提供において黄評価となったファンド（6本）の要因は共通で、運用成績を評価するにあたり、より適切と考えられる配当収益を含む指数とのパフォーマンス比較が開示されていないことです。配当込み指数を比較対象とすべく対応を進めています。

1

評価対象ファンド名

グローバル・ハイインカム・ストック・ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140301>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	中位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で中位の水準ですが、3年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.24%	1.85%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

2

評価対象ファンド名

グローバル・バリュー・オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140193>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

グローバル・バリュー・オープン（確定拠出年金向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.69%	1.85%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

3

評価対象ファンド名

世界好配当株投信（年4回決算型）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140335>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

世界好配当株投信（毎月分配型）／野村世界好配当株投信（確定拠出年金向け）／世界好配当株投信（野村SMA向け）／世界好配当株投信（野村SMA・EW向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.22%	1.85%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

4

評価対象ファンド名

野村未来トレンド発見ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140662>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

フューチャートrend世界株／野村DC世界株式トレンドファンド／野村未来トレンド発見ファンド Aコース（為替ヘッジあり）／野村未来トレンド発見ファンド Cコース（為替ヘッジあり）予想分配金提示型／野村未来トレンド発見ファンド Dコース（為替ヘッジなし）予想分配金提示型

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	下位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で下位の水準ですが、5年では上位の水準を維持しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.73%	1.85%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：スポットレポート、動画、特設サイト

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

5

評価対象ファンド名

野村アフリカ株投資

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140422>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	-

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
中位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められま
す。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	2.25%	2.22%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファン
ドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に
収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

6

評価対象ファンド名

米国NASDAQオープンBコース

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140259>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

米国NASDAQオープンAコース

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	下位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で下位の水準ですが、5年では上位の水準を維持しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.70%	1.91%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

7

評価対象ファンド名

アジア好配当株投信

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140380>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で中位の水準ですが、5年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.27%	2.05%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

8

評価対象ファンド名

チャイナ オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140139>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に、総合的に判断しています。

評価 **R**

競合比較	3年	5年
	下位【劣後】	下位【劣後】

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに下位の水準であり、改善すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

中国経済の拡大と共に成長が期待できる企業に投資する運用戦略をとっていましたが、中国政府による規制の影響やマクロ経済の方向性を正しく評価できない局面があり、投資先企業の株価が劣後する結果となりました。

今後は、重要セクターのアナリスト増員や海外各拠点の運用チームとの協力体制を強化していき、より幅広い視点をもって運用成果の改善を図ります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.71%	2.05%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

9

評価対象ファンド名

ノムラ・アジア・シリーズ（ノムラ・インド・フォーカス）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140476>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	下位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

収益性、成長性、安定性及びバリュエーション（投資価値評価）等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資する運用戦略でしたが、銘柄選択がうまくいかず、競合ファンドに対してパフォーマンスの優位性を発揮できませんでした。

そのため、2022年1月に経験豊富なアナリストを採用し銘柄選択能力の一段の向上を図るとともに、ポートフォリオの見直しを行い、パフォーマンスの改善に努めております。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.73%	2.05%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

10

評価対象ファンド名

野村インド株投資

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140341>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位【劣後】	中位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で中位の水準ですが、3年では下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

収益性、成長性、安定性及びバリュエーション（投資価値評価）等を総合的に勘案して選択した銘柄に投資する運用戦略でしたが、銘柄選択がうまくいかず、競合ファンドに対してパフォーマンスの優位性を発揮できませんでした。

そのため、2022年1月に経験豊富なアナリストを採用し銘柄選択能力の一段の向上を図るとともに、ポートフォリオの見直しを行い、パフォーマンスの改善に努めています。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	2.14%	2.05%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

11

評価対象ファンド名

野村グローバルAI関連株式ファンド Bコース

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140696>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村グローバルAI関連株式ファンド Aコース

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	下位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

AI関連銘柄の成長を幅広くとらえるために、IT、産業、ヘルスケアの3領域からAI関連銘柄を選別しています。特定のテーマやセクターが市場を牽引する市場環境下ではそれらを多く有するテクノロジーファンドに対して不利であることに加え、2021年末からの金利上昇時の銘柄選択がうまくいきませんでした。今後は、2022年に米国拠点に開設した北米調査室との連携強化等を通じて銘柄選別の精度をさらに高め、運用成果の改善を図ってまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.70%	1.88%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

12

評価対象ファンド名

野村世界業種別投資シリーズ（世界金融株投資）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140470>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	下位【劣後】

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で下位の水準ですが、3年では中位の水準を回復しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.71%	1.88%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

13

評価対象ファンド名

野村世界業種別投資シリーズ（世界資源株投資）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140472>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	下位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で下位の水準ですが、3年では上位の水準を回復しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.73%	1.88%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

14

評価対象ファンド名

野村世界業種別投資シリーズ（世界半導体株投資）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140471>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.68%	1.88%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

15

評価対象ファンド名

野村世界業種別投資シリーズ（世界ヘルスケア株投資）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140473>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.71%	1.88%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

ファンド・レビュー

内外債券 1/2

2023年9月作成

国内債券（一般）

(評価基準日：2023年3月31日)

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
1 ノムラ日本債券オープン（確定拠出年金向け）	G	G	G
2 野村日本債券ファンド（確定拠出年金向け）	G	G	G

海外債券（グローバル）

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
3 野村外国債券アクティブファンドBコース（野村SMA向け）	G	G	G
4 野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）	G	G	G
5 野村世界高金利通貨投信	G	G	G
6 野村先進国ヘッジ付き債券ファンド	G	G	G
7 ノムラ・ボンド・インカム・オープン	G	G	G
8 野村ワールドボンド・ファンド	Y	G	G
9 ハイブリッド・インカムオープン	G	G	G

海外債券（アジア・オセアニア通貨建て）

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
10 野村インド債券ファンド（毎月分配型）	G	G	G

お客様への継続的な価値提供の実現に向けて

R

(Red、赤)

…改善すべき点が認められます。

Y

(Yellow、黄)

…改善を検討すべき点が認められます。

G

(Green、緑)

…価値提供に向けた取り組みが認められます。

※ 上記は、ファンド・レビューが完了したものを掲載しております。他ファンドについても、順次ファンド・レビューが完了したものから開示する予定です。

※ 投資方針が同様のファンドが複数ある場合については、信託報酬水準の妥当性を判断する上で原則として信託報酬水準が高いファンドを代表として取り上げて評価しています。

※ 「野村SMA向け」のファンドは、SMA(セパレートリー・マネージド・アカウント)に係る契約に基づいて、SMA取引口座の資金を運用するためのファンドです。

概要説明

内外債券に投資するアクティブ運用プロダクトを評価しました。評価した10ファンドのうち、すべて緑色となったファンドは9本、黄色がついたファンドは1本でした。

その結果をふまえ、各ファンドについて記載したページでは、改善に向けた当社の取り組みについてもお伝えしています。

- 黄色がついたファンド（1本）

パフォーマンスが黄評価となりました。競合比較の3年のパフォーマンスが下位となっております。投資国の選別や通貨比率のコントロールを通じて運用成果の向上を図ります。

1

評価対象ファンド名

ノムラ日本債券オープン（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400005>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

ノムラ日本債券オープン（野村SMA向け）／ノムラ日本債券オープン（野村SMA・EW向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	中位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに中位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.61%	0.55%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収
まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

2

評価対象ファンド名

野村日本債券ファンド（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400015>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	中位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で中位の水準ですが、3年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.60%	0.55%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

3

評価対象ファンド名

野村外国債券アクティブファンドBコース（野村SMA向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140503>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村外国債券アクティブファンド（確定拠出年金向け）／野村外国債券アクティブファンドBコース（野村SMA・EW向け）／野村外国債券アクティブファンドAコース（野村SMA向け）／野村外国債券アクティブファンドAコース（野村SMA・EW向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.57%	0.69%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

4

評価対象ファンド名

野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140579>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村グローバル・ボンド・アクティブ・ファンド（野村SMA・EW向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	下位	上位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で下位の水準ですが、5年では上位の水準を維持しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.54%	0.69%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

5

評価対象ファンド名

野村世界高金利通貨投信

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=180030>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	中位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で中位の水準ですが、3年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.98%	1.41%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

6

評価対象ファンド名

野村先進国ヘッジ付き債券ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140514>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	下位	中位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で下位の水準ですが、5年では中位の水準を維持しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.75%	1.41%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

7

評価対象ファンド名

ノムラ・ボンド・インカム・オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140220>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で中位の水準ですが、5年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.76%	1.41%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

8

評価対象ファンド名

野村ワールドボンド・ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140729>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考にして、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	-

- ・設定来の経過期間が短く3年のみの評価となりますが、コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

昨年から各国で進められた金融引締めの影響で債券市場の下落が大きくなったことでパフォーマンスが悪化しました。また、運用資産の安定性を鑑みて外貨エクスポージャーを抑制していたところに円安が進んだことが、競合比較で劣位となった主な原因と考えます。今後金融引締めのペースが緩むことで投資環境の好転を見込んでおり、投資国の選別や通貨比率のコントロールを通じて運用成果の向上を図ってまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.05%	1.41%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

9

評価対象ファンド名

ハイブリッド・インカムオープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140317>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	中位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに中位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.40%	1.41%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

10

評価対象ファンド名

野村インド債券ファンド（毎月分配型）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=180187>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村インド債券ファンド（年2回決算型）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	-

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.67%	1.50%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：スポットレポート、動画、特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

ファンド・レビュー
マルチアセット 1/2

2023年10月作成

マルチアセット（ターゲットイヤー）(評価基準日：2023年3月31日)

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
1 野村資産設計ファンド2030	G	G	Y
2 野村資産設計ファンド2040	G	G	Y
3 マイターゲット2030（確定拠出年金向け）	G	G	Y
4 マイターゲット2035（確定拠出年金向け）	G	G	Y
5 マイターゲット2040（確定拠出年金向け）	G	G	Y
6 マイターゲット2045（確定拠出年金向け）	G	G	Y
7 マイターゲット2050（確定拠出年金向け）	G	G	Y
8 マイターゲット2055（確定拠出年金向け）	G	G	Y
9 マイターゲット2060（確定拠出年金向け）	G	G	Y

マルチアセット（アセットアロケーション）

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
10 世界分散投資戦略ファンド	Y	Y	G
11 ネクストコア	R	G	G
12 野村DC運用戦略ファンド（マイルド）	Y	G	G
13 野村世界6資産分散投信（配分変更コース）	Y	G	G
14 野村ターゲットインカムファンド（年3%目標分配型）	R	G	G

お客様への継続的な価値提供の実現に向けて

R

(Red、赤)

…改善すべき点が認められます。

Y

(Yellow、黄)

…改善を検討すべき点が認められます。

G

(Green、緑)

…価値提供に向けた取り組みが認められます。

※ 上記は、ファンド・レビューが完了したものを掲載しております。他ファンドについても、順次ファンド・レビューが完了したものとから開示する予定です。

※ 投資方針が同様のファンドが複数ある場合については、信託報酬水準の妥当性を判断する上で原則として信託報酬水準が高いファンドを代表として取り上げて評価しています。

概要説明

複数資産に投資するアクティブ運用プロダクトを評価しました。評価した14ファンドのうち、黄色がついたファンドは12本、赤色がついたファンドは2本でした。

その結果をふまえ、各ファンドについて記載したページでは、改善に向けた当社の取り組みについてもお伝えしています。

・赤色がついたファンド（2本）

ネクストコア：赤評価となったのは、競合比較のパフォーマンスです。運用モデルの改良により運用成果の向上を図っています。

野村ターゲットインカムファンド（年3%目標分配型）：赤評価となったのは、競合比較のパフォーマンスです。投資判断を行う運用委員会の人員強化等を通じて運用改善を図っています。

・黄色がついたファンド（12本）

パフォーマンスが黄評価となったファンド（3本）は、競合比較の3年のパフォーマンスが下位となっております。原因に応じて、運用モデルの継続的な検証、投資判断を行う運用委員会の人員強化等を通じて運用改善を図っています。

商品性が黄評価となったファンド（1本）は、経費率に基づく同類ファンドとの比較において、その中央値に対して大きく超過しています。パフォーマンスの結果とともに、適正な水準が注視してまいります。

情報提供において黄評価となったファンド（9本）の要因は共通で、運用成績を評価するにあたり、より適切と考えられる配当収益を含む指数とのパフォーマンス比較が開示されていないことです。配当込み指数を比較対象とすべく対応を進めています。

1

評価対象ファンド名

野村資産設計ファンド2030

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140400>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2030

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.97%	1.08%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が
開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求め
られます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。
運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと
考え、指数の変更対応を進めております。

2

評価対象ファンド名

野村資産設計ファンド2040

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140402>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村資産設計ファンド（DC・つみたてNISA）2040

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	中位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに中位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.97%	1.08%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

3

評価対象ファンド名

マイターゲット2030（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400056>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに
順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.26%	0.48%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が
開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求め
られます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。
運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと
考え、指数の変更対応を進めております。

4

評価対象ファンド名

マイターゲット2035（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400065>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.26%	0.48%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が
開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求め
られます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。
運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと
考え、指数の変更対応を進めております。

5

評価対象ファンド名

マイターゲット2040（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400057>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに上位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.26%	0.48%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が
開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求め
られます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。
運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと
考え、指数の変更対応を進めております。

6

評価対象ファンド名

マイターゲット2045（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400066>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	上位	中位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で中位の水準ですが、3年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.26%	0.48%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

7

評価対象ファンド名

マイターゲット2050（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400054>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	中位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
3年、5年ともに中位の水準であり、価値提供に向けた取り
組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.26%	0.48%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が
開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求め
られます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。
運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと
考え、指数の変更対応を進めております。

8

評価対象ファンド名

マイターゲット2055（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400067>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で中位の水準ですが、5年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.26%	0.48%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

9

評価対象ファンド名

マイターゲット2060（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400068>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	上位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で中位の水準ですが、5年では上位の水準であり、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.26%	0.48%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

10

評価対象ファンド名

世界分散投資戦略ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140672>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村D C世界分散投資戦略ファンド

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	-

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

昨年から各国で進められた金融引締めの影響で、現在投資対象の中心となっている債券市場の下落の影響を大きく受けたこと、運用資産の安定性を鑑みて外貨エクスポージャーを抑制していたところに円安が進んだことが、競合比較で劣位となった原因と考えます。投資判断を行う運用委員会に各アセットクラスの運用において長期の経験を有する運用者を加えるという人員強化を行うことにより、運用成果の改善を図っています。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **Y**

経費率	本ファンド	中央値
	2.07%	1.61%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
はその中央値に対して大きく超過している水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンス結果も合わせて、役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

11

評価対象ファンド名

ネクストコア

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140558>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村D C運用戦略ファンド

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **R**

競合比較	3年	5年
	下位【劣後】	-

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
下位の水準であり、改善すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

コロナ禍初期の市場の混乱を受けて更なる下落を回避するためにリスク抑制的な運用を行っていたため、その後の株式・REIT市場の回復局面における投資収益の改善が十分でなく、パフォーマンスが劣後しました。

今後は引き続きリスクには十分配慮しつつも、運用モデルの改良により、市場が安定的に推移する局面ではリスクの取得量を従来より拡大させることで、運用成果の向上を図ります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.50%	1.61%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

12

評価対象ファンド名

野村DC運用戦略ファンド（マイルド）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400052>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	-

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

コロナ禍初期の市場の混乱を受けて更なる下落を回避するためにリスク抑制的な運用を行っていたため、その後の株式・REIT市場の回復局面における投資収益の改善が十分でなく、パフォーマンスが劣後しました。

今後は運用モデルを継続的に検証し、運用成果の改善を図ってまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.68%	0.84%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

13

評価対象ファンド名

野村世界 6 資産分散投信（配分変更コース）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140653>

・ 同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **Y**

競合比較	3年	5年
	下位	-

- ・ コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、
下位の水準であり、改善を検討すべき点が認められます。

・ 対応状況に関するコメント

利回りやリスク、各資産の価格動向を測るトレンドと
いった指標で市場環境の変化を捉え、機動的に資産配分
を変更してきました。コロナショック後の株式・REITの
回復局面にそれらの比率を抑制し、その後のリターン回
復が遅れたことや、当該期間で大きく上昇した株式比率
が平均的に低いことがパフォーマンス劣後につながりま
した。運用モデルを継続的に検証し、運用成果の改善を
図ってまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報
告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付け
し、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.05%	1.61%

- ・ 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンド
は、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・ 対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・ 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レ
ポート）以外の追加開示：スポットレポート、動画、特設サ
イト

【情報提供資料の品質】

- ・ 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・ 対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

14

評価対象ファンド名

野村ターゲットインカムファンド（年3%目標分配型）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=180327>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村ターゲットインカムファンド（資産成長型）／野村ターゲットインカムファンド（年6%目標払出型）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **R**

競合比較	3年	5年
	下位	下位【劣後】

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年、5年ともに下位の水準であり、改善すべき点が認められます。

・対応状況に関するコメント

昨年から各国で進められた金融引締めの影響で、現在投資対象の中心となっている債券市場の下落の影響を大きく受けたこと、運用資産の安定性を鑑みて外貨エクスポージャーを抑制していたところに円安が進んだことが、競合比較で劣位となった原因と考えます。投資判断を行う運用委員会に各アセットクラスの運用において長期の経験を有する運用者を加えるという人員強化を行うことにより、運用成果の改善を図っています。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.05%	1.61%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：動画、特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

ファンド・レビュー

インデックスファンド 1/2

2023年11月作成

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。インデックスもしくはルールに定めた運用がなされているかの観点から運用品質を確認しています。

国内株式 (評価基準日：2023年3月31日)

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
1 JPX日経400ファンド	-	G	Y
2 京都・滋賀インデックスファンド	-	Y	G
3 積立て株式ファンド	-	Y	Y
4 トピックス・インデックス・オープン	-	Y	Y

海外株式

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
5 野村インデックスファンド・新興国株式	-	G	G
6 野村インデックスファンド・米国株式配当貴族	-	G	G
7 野村外国株式インデックスファンド	-	G	G
8 野村外国株（含む新興国）インデックスBコース（野村投資一任口座向け）	-	G	G
9 野村グローバルSRI 100	-	G	G

国内債券

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
10 野村インデックスファンド・国内債券	-	G	G
11 野村日本国債インデックスファンド（確定拠出年金向け）	-	G	G

海外債券 (評価基準日：2023年3月31日)

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
12 野村インデックスファンド・外国債券	-	G	G
13 野村インデックスファンド・新興国債券	-	G	G
14 野村外国債券（含む新興国）インデックスBコース（野村投資一任口座向け）	-	G	G
15 野村新興国債券インデックスファンド（確定拠出年金向け）	-	G	G

国内不動産投信

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
16 野村インデックスファンド・J-REIT	-	G	G

海外不動産投信

ファンド名	パフォーマンス (運用実績)	商品性	情報提供
17 野村インデックスファンド・外国REIT	-	G	G
18 野村世界REITインデックスBコース（野村投資一任口座向け）	-	G	G

お客様への継続的な価値提供の実現に向けて

R

(Red、赤)

…改善すべき点が認められます。

Y

(Yellow、黄)

…改善を検討すべき点が認められます。

G

(Green、緑)

…価値提供に向けた取り組みが認められます。

※ 上記は、ファンド・レビューが完了したものを掲載しております。他ファンドについても、順次ファンド・レビューが完了したものとから開示する予定です。

※ 投資方針が同様のファンドが複数ある場合については、信託報酬水準の妥当性を判断する上で原則として信託報酬水準が高いファンドを代表として取り上げて評価しています。

概要説明

国内外の株式、債券、不動産投信にそれぞれ投資するインデックス運用プロダクトを評価しました。評価した18ファンドのうち、すべて緑色となったファンドは14本、黄色がついたファンドは4本、赤色がついたファンドはありませんでした。その結果をふまえ、各ファンドについて記載したページでは、改善に向けた当社の取り組みについてもお伝えしています。

- 黄色がついたファンド（4本）
- 商品性が黄評価となったファンド（3本）は、経費率に基づく同類ファンドとの比較において、その中央値に対して大きく超過しています。役務に対する対価として適正な水準が注視してまいります。
- 情報提供において黄評価となったファンド（3本）の要因は共通で、運用成績を評価するにあたり、より適切と考えられる配当収益を含む指数とのパフォーマンス比較が開示されていないことです。配当込み指数を比較対象とすべく対応を進めています。

1

評価対象ファンド名

JPX日経400ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140582>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村インデックスファンド・JPX日経400／野村DC・JPX日経400ファンド

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.58%

0.51%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

2

評価対象ファンド名

京都・滋賀インデックスファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140361>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 Y

経費率

本ファンド

中央値

0.99%

0.51%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドはその中央値に対して大きく超過しております。当ファンドは、市場を代表する指数とは異なるカスタマイズされた商品性の指数であること、主に販売会社での対面での説明や販売手続きを行う役務の観点から、高い経費率となっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。



情報提供

評価 G

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

3

評価対象ファンド名

積立て株式ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140004>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

株式インデックス225／野村インデックスファンド・日経225／野村日経225インデックスファンド（確定拠出年金向け）／野村日経225インデックス（野村SMA・EW向け）／野村つみたて日本株投信

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 Y

経費率

本ファンド

中央値

0.79%

0.51%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドはその中央値に対して大きく超過しております。当ファンドは、主に販売会社での対面での説明や販売手続きを行う役務の観点から、高い経費率となっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。



情報提供

評価 Y

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

4

評価対象ファンド名

トピックス・インデックス・オープン

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140058>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村インデックスファンド・TOPIX／野村日本株インデックス（野村投資一任口座向け）／野村TOPIXインデックス（野村SMA・EW向け）／トピックス・インデックス・オープン（確定拠出年金向け）／野村国内株式インデックスファンド・TOPIX（確定拠出年金向け）／野村DC国内株式インデックスファンド・TOPIX

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 Y

経費率

本ファンド

中央値

0.69%

0.51%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドはその中央値に対して大きく超過しております。当ファンドは、主に販売会社での対面での説明や販売手続きを行う役務の観点から、高い経費率となっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き役務に対する対価として適正な水準か注視してまいります。



情報提供

評価 Y

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

5

評価対象ファンド名

野村インデックスファンド・新興国株式

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140516>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村新興国株式インデックスファンド（確定拠出年金向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.73%

0.76%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

6

評価対象ファンド名

野村インデックスファンド・米国株式配当貴族

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140687>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

米国株式配当貴族（年4回決算型）／米国株式配当貴族・為替ヘッジなし型（投資一任サービス向け）／野村インデックスファンド・米国株式配当貴族・為替ヘッジ型／米国株式配当貴族・為替ヘッジあり型（投資一任サービス向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む業務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.57%

0.76%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

7

評価対象ファンド名

野村外国株式インデックスファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140290>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村インデックスファンド・外国株式／野村外国株インデックスBコース（野村投資一任口座向け）／野村外国株インデックスBコース（野村SMA・EW向け）／野村外国株式インデックスファンド・MSCI-KOKUSAI（確定拠出年金向け）／野村DC外国株式インデックスファンド・MSCI-KOKUSAI／野村スリーゼロ先進国株式投信／野村インデックスファンド・外国株式・為替ヘッジ型／野村外国株インデックスAコース（野村SMA・EW向け）／野村外国株インデックスAコース（野村投資一任口座向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- 運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.66%

0.76%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

8

評価対象ファンド名

野村外国株（含む新興国）インデックスBコース（野村投資一任口座向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140721>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村外国株（含む新興国）インデックスAコース（野村投資一任口座向け）／野村つみたて外国株投信

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較	3年	5年
	-	-

- 運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.44%	0.36%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

9

評価対象ファンド名

野村グローバルSRI 100

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140315>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村インデックスファンド・先進国ESG株式／野村世界E S G株式インデックスファンド（確定拠出年金向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む業務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

1.09%

0.76%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

10

評価対象ファンド名

野村インデックスファンド・国内債券

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140523>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村日本債券インデックスファンド／野村円債投資インデックスファンド／野村日本債券インデックス（野村投資一任口座向け）／野村日本債券インデックス（野村SMA向け）／野村日本債券インデックス（野村SMA・EW向け）／野村国内債券インデックスファンド・NOMURA-BPI総合（確定拠出年金向け）／野村DC国内債券インデックスファンド・NOMURA-BPI総合

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- 運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.43%

0.41%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

11

評価対象ファンド名

野村日本国債インデックスファンド（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400016>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較	3年	5年
	-	-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.33%	0.15%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

12

評価対象ファンド名

野村インデックスファンド・外国債券

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140522>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村外国債券インデックスファンド／野村外国債券バッシブファンド（確定拠出年金向け）／野村外国債券インデックスBコース（野村投資一任口座向け）／野村外国債券インデックス（野村SMA向け）／野村外国債券インデックスBコース（野村SMA・EW向け）／野村外国債券インデックスファンド（確定拠出年金向け）／野村DC外国債券インデックスファンド／野村インデックスファンド・外国債券・為替ヘッジ型／野村外国債券インデックスAコース（野村SMA・EW向け）／野村外国債券インデックスAコース（野村投資一任口座向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- 運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.63%

0.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

13

評価対象ファンド名

野村インデックスファンド・新興国債券

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140520>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村DC新興国債券（現地通貨建て）インデックスファンド

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.78%

0.67%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

14

評価対象ファンド名

野村外国債券（含む新興国）インデックスBコース（野村投資一任口座向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140719>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村外国債券（含む新興国）インデックスAコース（野村投資一任口座向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較	3年	5年
	-	-

- 運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.34%	0.30%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

15

評価対象ファンド名

野村新興国債券インデックスファンド（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400046>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村インデックスファンド・新興国債券・為替ヘッジ型

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- 運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.29%

0.27%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して少し高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

16

評価対象ファンド名

野村インデックスファンド・J-REIT

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140525>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村J-REITインデックス（野村SMA・EW向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較	3年	5年
	-	-

- 運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.44%	0.67%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

17

評価対象ファンド名

野村インデックスファンド・外国REIT

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140524>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村インデックスファンド・外国REIT・為替ヘッジ型

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- 運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.64%

0.75%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

18

評価対象ファンド名

野村世界REITインデックスBコース（野村投資一任口座向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140421>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村世界REITインデックス（野村SMA・EW向け）／野村世界REITインデックスファンド（確定拠出年金向け）
／野村世界REITインデックスAコース（野村投資一任口座向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- 運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.44%

0.44%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対してほぼ同等の水準となっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

ファンド・レビュー

インデックスファンド（マルチアセット）他 1/2

2023年12月作成

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。インデックスもしくはルールに定めた運用がなされているかの観点から運用品質を確認しています。

マルチアセット（バランス） （評価基準日：2023年3月31日）

ファンド名	パフォーマンス （運用実績）	商品性	情報提供
1 世界6資産分散ファンド	-	G	Y
2 野村6資産均等バランス	-	G	Y
3 野村インデックスファンド・海外5資産バランス	-	G	G
4 野村インデックスファンド・内外7資産バランス・為替ヘッジ型	-	G	Y
5 野村世界6資産分散投信（安定コース）	-	G	Y
6 野村世界6資産分散投信（成長コース）	-	G	Y
7 野村世界6資産分散投信（分配コース）	-	G	Y
8 バランスセレクト30	-	G	Y
9 バランスセレクト50	-	G	Y
10 バランスセレクト70	-	G	Y
11 マイバランス30（確定拠出年金向け）	-	G	Y
12 マイバランス50（確定拠出年金向け）	-	G	Y
13 マイバランス70（確定拠出年金向け）	-	G	Y

海外債券（北米通貨建て）

ファンド名	パフォーマンス （運用実績）	商品性	情報提供
14 野村米国国債部分ラダーファンドBコース（野村SMA向け）	-	G	G

その他（限定追加型等）

（評価基準日：2023年3月31日）

ファンド名	パフォーマンス （運用実績）	商品性	情報提供
15 財形株投（一般財形50）	G	G	Y
16 財形株投（年金・住宅財形30）	G	G	Y
17 ミリオン（インデックスポートフォリオ）	-	G	Y
18 ミリオン（ジャパン ドリーム ポートフォリオ）	G*	G	G
19 ミリオン（バランスポートフォリオ）	G	G	Y

*詳細につきましては、123ページをご参照ください。

お客様への継続的な価値提供の実現に向けて

R

(Red、赤)

…改善すべき点が認められます。

Y

(Yellow、黄)

…改善を検討すべき点が認められます。

G

(Green、緑)

…価値提供に向けた取り組みが認められます。

- ※ 上記は、ファンド・レビューが完了したものを掲載しております。他ファンドについても、順次ファンド・レビューが完了したものとから開示する予定です。
- ※ 投資方針が同様のファンドが複数ある場合については、信託報酬水準の妥当性を判断する上で原則として信託報酬水準が高いファンドを代表として取り上げて評価しています。
- ※ 「野村SMA向け」のファンドは、SMA(セパレイトリー・マネージド・アカウント)に係る契約に基づいて、SMA取引口座の資金を運用するためのファンドです。

概要説明

複数資産に投資するインデックス運用プロダクト他、全19本を評価しました。そのうち、すべて緑色となったファンドは3本（うち2本は商品性と情報提供の評価のみ）、黄色がついたファンドは16本、赤色がついたファンドはありませんでした。その結果をふまえ、各ファンドについて記載したページでは、改善に向けた当社の取り組みについてもお伝えしています。

なお、インデックス運用プロダクト（No.1～13、17）、商品性として定められたルールに従って運用するプロダクト（No.14）については、パフォーマンス評価の対象外としています。

- 黄色がついたファンド（16本）
- 情報提供において黄評価となったファンド（16本）の要因は共通で、運用成績を評価するにあたり、より適切と考えられる配当収益を含む指数とのパフォーマンス比較が開示されていないことです。配当込み指数を比較対象とすべく対応を進めています。

1

評価対象ファンド名

世界6資産分散ファンド

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140724>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.58%

1.29%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

2

評価対象ファンド名

野村6資産均等バランス

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140712>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.25%

1.29%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

3

評価対象ファンド名

野村インデックスファンド・海外5資産バランス

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140571>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.71%

1.29%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

4

評価対象ファンド名

野村インデックスファンド・内外7資産バランス・為替ヘッジ型

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140568>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役割に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.56%

1.29%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

5

評価対象ファンド名

野村世界6資産分散投信（安定コース）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140358>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村世界6資産分散投信（DC）安定コース

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 G

経費率

本ファンド

中央値

0.69%

1.29%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 Y

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：スポットレポート、動画、特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

6

評価対象ファンド名

野村世界 6 資産分散投信（成長コース）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140360>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村世界 6 資産分散投信（DC）成長コース

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.86%

1.29%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：スポットレポート、動画、特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

7

評価対象ファンド名

野村世界 6 資産分散投信（分配コース）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140359>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村世界 6 資産分散投信（DC）インカムコース

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.79%

1.29%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：スポットレポート、動画、特設サイト

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

8

評価対象ファンド名

バランスセレクト30

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140266>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

バランスセレクト30（確定拠出年金向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.65%

1.29%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

9

評価対象ファンド名

バランスセレクト50

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140267>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

バランスセレクト50（確定拠出年金向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.73%

1.29%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

10

評価対象ファンド名

バランスセレクト70

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140268>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

バランスセレクト70（確定拠出年金向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.81%

1.29%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

11

評価対象ファンド名

マイバランス30（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400022>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

マイバランスDC30

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役割に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.17%

0.59%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

12

評価対象ファンド名

マイバランス50（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400023>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

マイバランスDC50

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.17%

0.59%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

13

評価対象ファンド名

マイバランス70（確定拠出年金向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=400024>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

マイバランスDC70

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役割に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.17%

0.59%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

14

評価対象ファンド名

野村米国国債部分ラダーファンドBコース（野村SMA向け）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140577>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

野村米国国債部分ラダーファンドBコース（野村SMA・EW向け）／野村米国国債部分ラダーファンドAコース（野村SMA向け）／野村米国国債部分ラダーファンドAコース（野村SMA・EW向け）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役務に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- 運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.41%

0.49%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

15

評価対象ファンド名

財形株投（一般財形50）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140131>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	下位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で下位の水準ですが、3年では中位の水準を回復しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.62%	1.62%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値と同水準にあり、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

16

評価対象ファンド名

財形株投（年金・住宅財形30）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140132>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

財形株投（一般財形30）

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	下位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で下位の水準ですが、3年では中位の水準を回復しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	1.62%	1.62%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値と同水準にあり、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

17

評価対象ファンド名

ミリオン（インデックスポートフォリオ）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140037>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

インデックスファンドその他の商品性として定められたルールに従って運用するファンドについては、パフォーマンスの競合比較が主として情報提供等を含む役割に応じた信託報酬等の影響を受けやすいことから、当パフォーマンス評価の対象外とします。

評価 無し

競合比較

3年

5年

-

-

- ・運用プロセスや商品性をとらえる指数との連動性などの観点から、運用品質における課題は認められませんでした。

・対応状況に関するコメント

引き続き運用品質の向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率

本ファンド

中央値

0.43%

0.55%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

18

評価対象ファンド名

ミリオン（ジャパン ドリーム ポートフォリオ）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140088>

・同様の投資方針の他のファンド*

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G***

競合比較	3年	5年
	下位	中位

- ・コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、3年で下位の水準、5年では中位の水準を維持しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

*なお、9月末においては、3年が下位【劣後】、5年が下位で、赤評価に相当する水準となっております。

・対応状況に関するコメント

新興市場の銘柄については先行投資により赤字が続いていた銘柄の保有等がパフォーマンスの悪化要因でしたが、顧客基盤を積み上げていくことで売上だけでなく利益成長も見込まれる銘柄を中心に選別を進めています。また特定のテーマに偏ることなく、多様な投資アイデアを取り込むことで、安定的な超過収益の獲得を目指します。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.85%	0.55%

- ・経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値に対して高いものの、相応の範囲に収まっています。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **G**

【情報提供資料の開示状況】

- ・法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- ・価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続き適切な情報提供を目指してまいります。

19

評価対象ファンド名

ミリオン（バランスポートフォリオ）

当ファンドの投資リスク、費用等については、以下のURL（当社ホームページ）にアクセスのうえご確認ください。

<https://www.nomura-am.co.jp/fund/funddetail.php?fundcd=140038>

・同様の投資方針の他のファンド※

※経費率、開示情報等が異なることから、評価結果等は以下と異なる場合があります。

なし

（評価基準日：2023年3月31日）



パフォーマンス（運用実績）

複数の外部評価機関による3年と5年の競合比較による評価を参考に
して、総合的に判断しています。

評価 **G**

競合比較	3年	5年
	中位	下位

- コスト控除後のリターンとリスクに基づく競合比較において、5年で下位の水準ですが、3年では中位の水準を回復しており、価値提供に向けた取り組みが認められます。

・対応状況に関するコメント

引き続きパフォーマンスの向上に努めてまいります。



商品性

経費率は信託報酬等を含めた運用・管理にかかった費用から計算されています。詳しくは運用報告書をご覧ください。中央値は、他社ファンドを含む同類ファンドを経費率の大きさに順位付けし、その中間順位となる値です。

評価 **G**

経費率	本ファンド	中央値
	0.43%	0.55%

- 経費率に基づく同類ファンドとの比較において、当ファンドは、その中央値を下回っており、相応の水準にあります。

・対応状況に関するコメント

引き続き商品性の維持向上に努めてまいります。



情報提供

評価 **Y**

【情報提供資料の開示状況】

- 法令等で規定される文書（目論見書・運用報告書・月次レポート）以外の追加開示：なし

【情報提供資料の品質】

- 一部レポートにおいて、配当を考慮した指数との比較情報が開示されておらず、より運用実態に近い指数との比較が求められます。

・対応状況に関するコメント

当ファンドは投資対象資産から配当を受け取っています。運用の実態に即し、配当を考慮した指数と比較すべきと考え、指数の変更対応を進めております。

ファンド・レビュー

少額ファンドについて

2024年2月作成

運用資産残高が少額のファンドについては、運用パフォーマンスや商品性などの観点においてお客様から支持を得られていない可能性が考えられます。また、少額のファンドについては、ファンドの固定費が相対的に占める割合が大きくなると同時に、設定解約の影響も受けやすくなるなどの運用パフォーマンスに与える影響も大きくなる傾向にあります。

そのような観点から、年度の平均純資産総額（各月末の純資産総額の平均値）が10億円未満の少額ファンドについては、改善を検討すべき点があると考えられます。そのため前述のファンド・レビューとは別に運用パフォーマンスの状況や商品性などを個別に確認し、必要に応じて対応方針を検討します。

当資料で使用した指数および指数の著作権について

・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

指数の著作権について：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利は J P X が有します。J P X は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P X により提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対しても J P X は責任を負いません。

Morningstar Ratingsについて

©2023 Morningstar, Inc. All Rights Reserved. 本レポートの情報源のひとつであるMorningstar のデータは、(1) Morningstar および／またはそのコンテンツ提供者の専有情報です。(2) コピーならびに再配布はできません。(3) 情報の正確性、完全性や適時性を保証するものではありません。Morningstar およびそのコンテンツ提供者は、本レポートの情報を利用して行いたいかなる投資の損失、損害に責任を負いません。過去のパフォーマンスは将来のリターンを保証するものではありません。

当資料について

- ・当資料は、ファンド・レビューの内容を開示することを目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- ・投資勧誘を目的とした資料ではありません。
- ・当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しております。
- ・当資料の内容は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。
- ・当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆ないし保証するものではありません。

お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

野村アセットマネジメント株式会社
東京都江東区豊洲二丁目2番1号
TEL (03)6387-5000 (大代表)

NOMURA 野村アセットマネジメント

商 号：野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 373 号
加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会